

# 居住実態申立書

この申立書は、被災された住家に住民登録を置いていなかった方に対し、「被災した住家に居住し生活の本拠であった」ことを確認させていただくためのものです。

今回、\_\_\_\_\_の支給対象となるためには、住民登録は置いていないが、「被災した住家が生活の本拠であった」ことを確認が必要となりますので、以下1～3の必要事項を記入の上、下記4の「証明する書類」を添え、記名・押印して提出してください。

1 被災した住家の住所・居住者

武雄市 \_\_\_\_\_ 町 大字 \_\_\_\_\_ 番地 \_\_\_\_\_ (行政区 \_\_\_\_\_ )  
世帯主 \_\_\_\_\_ 世帯員氏名 \_\_\_\_\_

2 上記住家を生活の本拠とし、日常的に使用・居住している期間

年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日頃から、現在まで (又は \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日まで)

3 被災した住所 (住家) に住民登録を置いていなかった理由 (できるだけ具体的に)

4 被災した住所に居住し、生活の本拠があったことを証明する書類

今回提出する書類の番号を、○で囲んでください。

① 公共料金の領収書又は払込証明書 ( i 電気 ii ガス iii 水道 のうち 1 種類以上)

※ 氏名、住所が記載されているもので、ある程度の使用実績が確認できるもの。

※ なお、これらが提出できない場合は、②～⑥の書類のうち一つが必要です。

② 賃貸借契約書の写し、仲介不動産会社の証明 (被災者が居住していたことが分かるもの。)

③ 被災直前に被災住所に宛てて送付された、消印のある郵便物

④ NHK受信料の領収書

⑤ 学校在学 (通学) 証明書 (被災した住所が記載されているもの。)

⑥ 民生委員、区長、自治会長による居住証明

様式は自由ですが、証明者の役職・氏名・住所・電話番号が記入してあることが必要です。

私は、上記のとおり、生活の本拠が被災した住家に相違ないことを申立てます。

令和 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

武雄市長 様

申立人住民票登録地: \_\_\_\_\_

現在の居住地: \_\_\_\_\_

氏名: \_\_\_\_\_ ㊞ 電話: \_\_\_\_\_

【民生委員、区長、自治会長証明欄】

上記のとおり、居住の実態があることを証明します。

住所 \_\_\_\_\_

役職 \_\_\_\_\_ 氏名: \_\_\_\_\_ ㊞ 電話: \_\_\_\_\_